

# 令和元年度 スポーツ分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査票Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業の平成30年度実績です。

(1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業

(2) 基本構想実施計画(平成29～31年度)に掲載されている事業のうち、  
中項目が「生涯学習」「文化振興」「スポーツ振興」「観光」「交流」の事業

(3) 平成30年度の重点施策事業のうち、「コミュニティ・産業・文化」分野に該当する事業

※それ以外の事業は「令和元年度 スポーツ分野事業調査結果B」に掲載されています。

## 調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
  - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「実施計画事業番号」
  - ・「文京区基本構想実施計画(平成29年度～31年度)」の事業番号
- 「事業名」
  - ・事業名
- 「目的」
  - ・事業で達成すべき目的
- 「内容」
  - ・事業の内容
- 「事業費」
  - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
  - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
  - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
  - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」※アンケート未実施の場合、「一」が記載されています。
  - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「実績(内容)」
  - ・30年度事業の実施状況
- 「成果」
  - ・事業の目的に対して、事業で得られた成果
- 「課題と改善点」
  - ・事業の目的に対して、不十分だった点や改善すべき点
- 「今後の方向性」
  - ・今後の事業の方向性
- 「担当課」・「担当係」
  - ・事業を担当する課・係

スポーツ		(所管課)
<b>【分野別目標3】 スポーツ活動を支える環境の整備</b>		
1	スポーツセンターの改修	スポーツ振興課
2	スポーツ施設の整備と活用促進	スポーツ振興課
3	六義公園運動場管理棟等の改築	スポーツ振興課
4	まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開故事業	スポーツ振興課
5	学校施設の活用	スポーツ振興課/学務課
6	スポーツ交流ひろばの充実	スポーツ振興課
7	スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ振興課
8	スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	スポーツ振興課
9	スポーツ指導者の育成	スポーツ振興課
10	スポーツ指導者派遣	スポーツ振興課
11	スポーツボランティアの養成	スポーツ振興課
12	スポーツボランティア情報の発信	スポーツ振興課
13	スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ振興課
14	地域スポーツ情報の提供	スポーツ振興課
15	各種メディアとの連携推進	スポーツ振興課
<b>【分野別目標4】 スポーツを通じた仲間づくりと交流</b>		
1(再掲)	社会教育関係団体登録制度による活動支援	スポーツ振興課/アカデミー推進課
2(再掲)	スポーツ交流ひろばの充実	スポーツ振興課
3(再掲)	スポーツボランティアの養成	スポーツ振興課
4	カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	スポーツ振興課
5(再掲)	親子向けスポーツ教室	スポーツ振興課
6(再掲)	スポーツ交流ひろばの充実	スポーツ振興課
7	ニュースポーツ教室・大会	スポーツ振興課

【分野別目標3】 スポーツ活動を支える環境の整備

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)			参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
【基本的な方向性(1)】 気軽にスポーツを楽しめる環境の整備																		
1	35	S01-02	スポーツセンターの改修	老朽化したスポーツセンターの全面改修により、スポーツの環境整備を行う。	老朽化したスポーツセンターを改修し、バリアフリー化を含め、だれもが安全で快適にスポーツを楽しむことができる環境を整備する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	平成30年7月1日にリニューアルオープンし、通常営業を再開した。 スポーツ振興課の決算額(職員旅費と初度調弁費) 68,901千円 工事費は施設管理部で別に執行	バリアフリー化を含め、全面改修工事を実施した。	終了	スポーツ振興課	施設等担当		
						決算	—	実績数	—	—								
								申込数	—	—								
2	35		スポーツ施設の整備と活用促進	スポーツ施設の整備により、快適化を実施する。	区立スポーツ施設の快適な環境への整備をはじめ、区立学校施設等の活用による、スポーツ活動の場の整備を進めていく。	予算	19,491	当初予定数(定員等)	—	—	—	小石川運動場の人工芝整備工事を実施した。	人工芝のJFA公認を更新した。	稼働率が高い施設のため、2年に1度程度のメンテナンスが必要。	縮小	今後はJFAの公認は取らず、使用に耐える程度に整備工事を実施していく。	スポーツ振興課	施設等担当
						決算	15,592	実績数	—	—								
								申込数	—	—								
3			六義公園運動場管理棟等の改築	老朽化したスポーツ施設の管理棟の改築工事により、施設全体の快適化を図る。	六義公園運動場の管理棟を改築する工事を行う。それに伴い、既存の管理棟及び倉庫の解体工事、仮設事務所の借上げ、運動場放送設備及び防球ネット改修工事を行う。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	令和元年度の工事着工にむけて、管理事務所棟の実設計等を行った。	令和元年度の工事着工にむけて、管理事務所棟の実設計等を行った。	現状維持	スポーツ振興課	施設等担当		
						決算	—	実績数	—	—								
								申込数	—	—								
4			まるごと子育て応援未就学児童の遊び場開放事業	屋外運動場の一部時間帯を利用し、未就学児に外遊びの機会を提供する。	子どもが外で自由に遊ぶ場所が不足している現状をふまえ、屋外スポーツ施設(六義公園運動場及び後楽公園少年野球場)を活用し、未就学児童を対象に外遊びの機会を提供する。 1 あおぞらすすく広場 →施設の無料開放。(個人向け、園庭のない保育園等向け) 2 親子すすく教室 →未就学児とその保護者向けのスポーツ教室 3 園児すすくプログラム →園庭のない保育園等を対象として、後楽公園少年野球場にてスポーツプログラムを実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	1 あおぞらすすく広場 定員:なし 年間延べ実施日数:58日 年間延べ参加人数3,187人 2 親子すすく教室 定員:1期あたり20組40名、全4期 年間延べ実施日数:22日 年間延べ参加人数:469人 3 園児すすくプログラム 定員:1園20~30名程度 年間延べ実施回数:22回 年間延べ参加人数:419人 1は指定管理料に含まれる。 2及び3の委託費及び消耗品費 578千円	屋外運動場の比較的予約の入らないコマを利用し、未就学児の外遊びの機会を提供できた。	あおぞらすすく広場は広く周知されていない感があるため、区報掲載やチラシ配布などの周知に工夫が必要である。	拡充	六義公園運動場の園児すすくプログラムについては、回数増を検討する。	スポーツ振興課	施設等担当
						決算	—	実績数	—	—								
								申込数	—	—								
5	20		学校施設の活用	地域団体等に対して活動の場を提供する。	区立小・中学校の屋内運動場・格技室・教室・校庭を地域の団体等に開放する。(余裕教室の社会教育的利用、夜間管理の分離)	予算	—	当初予定数(定員等)	—	—	—	30年度実績 小学校 6,359件 中学校 4,606件	例年、小・中学校合わせて1万件前後の利用があり、地域住民の身近なスポーツ・生涯学習の活動の場として定着している。	現状維持	利用団体が固定されている傾向にあるため、利用団体の拡大が課題である。	スポーツ振興課/学務課	スポーツ振興係/施設係	
						決算	—	実績数	10,965 件	—								
								申込数	—	—								
6	31	S01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区民に年間を通じてスポーツの機会を提供する。	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でプール一般開放を実施、その他育成会等の申請によりプール団体開放を実施する。	予算	13,976	当初予定数(定員等)	—	—	—	スポーツ交流ひろば:区立小・中学校18校にて実施した。 学校プール一般開放:昭和小学校及び音羽中学校で実施した。 学校プール団体開放:3校で実施した(1校は申請があったが、低温のため中止した)。	スポーツ交流ひろば:延べ1,441日実施、延べ28,776人参加した。 学校プール一般開放:延べ11日(3日は台風の影響または高温のため中止)実施、延べ1,192人参加した。 学校プール団体開放:延べ8日(1日は低温のため中止)実施、延べ663人参加した。	指導員及び運営委員会の高齢化と、後継者不足。	現状維持	スポーツ振興課	施設等担当	
						決算	11,738	実績数	30,631 人	—								
								申込数	—	—								

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)		参加者 満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係	
<b>【基本的な方向性(2)】 スポーツ指導者等の育成と確保、技術の強化</b>																
7	36		スポーツ推進委員会活動への支援	スポーツ推進委員の資質向上や、活動の機会を増やすため。	スポーツ推進委員への研修会の実施や委託事業等を通じて、活動への支援を実施する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	実績のとおり	—	○スポーツ推進委員委託事業 ・ファミリーハイキング教室(6/2 参加人数:63人) ・ウォーキング教室(11/3 参加人数:39人) ・ニュースポーツ教室(通年、大会:3月10日 教室参加人数:662人 大会参加人数:315人) ・文京スキー教室(3/29~31 参加人数59人)	各教室とも、参加者から好評であり、ドッチビー大会においては2年ぶりのスポーツセンターでの実施となり、多くの区民が参加した。	より魅力的なコース選定を行い、安定した参加者数を確保することが必要である。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	実績のとおり	—						
								申込数	実績のとおり	—						
8	36		スポーツ推進委員・スポーツリーダー等の委嘱	地域の生涯スポーツ・レクリエーション等の普及・振興及び区民の自主的なスポーツ活動を支援するため。	スポーツ推進委員やスポーツリーダー等を委嘱する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	71人	—	○委嘱人数 ・スポーツ推進委員 32名(定員33) ・スポーツリーダー 39名	経験豊富なスポーツ推進委員やスポーツリーダーが引き続き委嘱され、新任の委員も一定数加入することとなった。	平成30年度からスポーツ推進委員が定員割れの状態になっているので、推薦の依頼先となる団体等に対して積極的に推薦者を出すよう働きかける必要がある。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	71人	100.0%						
								申込数	71人	100.0%						
9	36	ス02-01	スポーツ指導者の育成	スポーツ指導者の資質向上を図るため。	スポーツ推進委員、スポーツリーダー、スポーツ交流ひろばの指導員等を対象に各種研修会を実施する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	150人	—	指導者講習会 ・応急救護訓練(5/17 参加人数:49人 講師:本郷消防署) ・スポーツ時の安全対策~予防と初期対応~ (9/20 参加人数:39人 講師:掛川整形外科) ・子どもに関わる全ての指導者に必要なこと ~あそびを通じて体づくり・動きづくり・心づくり~ (1/17 参加人数:32人 講師:佐藤弘道)	スポーツ事業を企画・運営する上で必要な知識や技術を習得すると共に、指導者としてレベルアップするために必要な内容を、毎年工夫して提供している。	対象者への受講勧奨の方法や、必要性のアピール等を工夫する。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	120人	80.0%						
								申込数	120人	80.0%						
10	36	ス02-01	スポーツ指導者派遣	区民の団体間でもよりスポーツを活発化するため。	自主的なスポーツ活動を行う区民の団体等へスポーツ指導者を派遣し、スポーツの競技力を向上させる。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	○派遣件数:124単位 ・スポーツ推進委員:72単位 ・スポーツリーダー52単位 ※派遣回数:1団体につき年間4単位(1単位2-3時間程度)	昨年度に比べわずかに派遣単位数は減少したが、新規団体からの申請が増加した。	指導競技が偏っているため、実績が少ない競技への指導員の派遣増加が必要である。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	124単位	—						
								申込数	124単位	—						
<b>【基本的な方向性(3)】 スポーツボランティア等の活動支援</b>																
11	37	ス01-03	スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進し、ボランティアマインドを養成するため。	「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣する。	予算	3,110	当初予定数 (定員等)	—	—	・スポーツボランティア登録者数:122人 ・平成30年度スポーツボランティア派遣人数:472人 ・スポーツボランティア養成講座全6回 受講者延べ79人	スポーツ事業・オリンピック・パラリンピック気運醸成事業を中心に、ボランティアの従事依頼を実施した。また、区外の自治体・ボランティア団体との連携により、区内で実施していない競技スポーツ事業への派遣数が増加した。併せて大会ボランティア・都市ボランティアの情報を提供するだけでなく、区からの推薦も行った。	東京2020大会の気運醸成のため、より多くの事業に従事依頼を行う必要がある。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	1,981	実績数	—	—						
								申込数	—	—						
12	37	ス01-03	スポーツボランティア情報の発信	スポーツボランティア登録者が、より多くの情報に触れ、様々な活動の機会を得るため。	スポーツボランティア参加イベントの募集や活動状況の報告、参加者の声等、スポーツボランティアに関する情報を広く発信する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	スポーツボランティア登録者への従事募集情報の配信や「スポーツボランティアガイドブック」の配付等  平成30年度はガイドブック未発行	ボランティア情報を随時メールにて送信した。また、日本ボランティアネットワークの情報を共有し、区が関与しない事業でのボランティア活動を推奨した。	ボランティア情報の収集を行う必要がある。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	—	—						
								申込数	—	—						

整理No.	頁	実施計画 事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)			参加者 満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係	
<b>【基本的な方向性(4)】 スポーツに関する情報の発信と相談体制の整備</b>																	
13	37		スポーツ交流ひろば通信の発行	スポーツ交流ひろばの指導員へ定期的に情報発信を行う。	スポーツ交流ひろばの指導員に向け、スポーツ振興に関する情報等を発信する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	—	毎月1回、計12回発行した。	指導員への連絡事項やスポーツ振興に関する情報を、定期的に発信できた。	より分かりやすくするため、毎号内容の見直しを行う。	現状維持	スポーツ振興課	施設等担当
						決算	—	実績数	—	—							
								申込数	—	—							
14	37		地域スポーツ情報の提供	区のスポーツ事業や地域スポーツ団体についての情報を発信する。	地域スポーツを普及・振興するため、地域スポーツ情報を提供する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	—	事業実施時、事業の様子などをホームページやフェイスブックで公開した。	区が関与している事業を周知することにより、身近な場所で行われているスポーツ事業の情報が提供できた。	SNSの活用等を考慮していく。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	—	—							
								申込数	—	—							
15	37		各種メディアとの連携推進	区のスポーツ事業を周知する。	区の魅力的なスポーツ事業等の取り組みを報道機関等をはじめ各種メディアにリリースし、広く内外へ発信する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	—	—	事業実施時、事業の様子などをホームページやフェイスブックで公開した。	区が関与している事業を周知することにより、身近な場所で行われているスポーツ事業の情報が提供できた。	SNSの活用等を考慮していく。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	—	実績数	—	—							
								申込数	—	—							

令和元年度 スポーツ分野事業調査結果A(平成30年度実施事業)

【分野別目標4】 スポーツを通じた仲間づくりと交流

整理No.	頁	実施計画事業番号	事業名	目的	内容	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	実績(内容)	成果	課題と改善点	今後の方向性	担当課	担当係		
<b>【基本的な方向性(1)】 スポーツを通じた仲間づくり</b>																
1 (再掲)	38		社会教育関係団体登録制度による活動支援	区民の自主的な文化・スポーツ・学習活動を促進する。	一定の要件を満たす団体を社会教育関係団体として登録し、施設の優先利用や利用料金の減免などを行い、その活動を支援する。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	登録団体数 1,128団体 (内訳) 生涯学習 623団体 スポーツ 505団体	登録団体名簿の関連施設への配架、ホームページへの掲載で、登録団体を広く周知し、区民の自主的な活動の促進につながった。	団体の申請時から登録情報が変わっているが、変更の届出がない団体が多く見受けられる。また、団体数の増加に伴い、分類分けを見直しを検討する必要がある。	現状維持	アカデミー推進課/スポーツ振興課	アカデミー推進係/スポーツ振興係	
						決算	0	実績数	1,128 団体							
								申込数	—							
2 (再掲)	38	ス01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区民に年間を通じてスポーツの機会を提供する。	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でブルー一般開放を実施、その他育成会等の申請によりブルー団体開放を実施する。	予算	13,976	当初予定数(定員等)	—	スポーツ交流ひろば：区立小・中学校18校にて実施した。 学校ブルー一般開放：昭和小学校及び音羽中学校で実施した。 学校ブルー団体開放：3校で実施した(1校は申請があったが、低温のため中止した)。	スポーツ交流ひろば：延べ1,441日実施、延べ28,776人参加した。 学校ブルー一般開放：延べ11日(3日は台風の影響または高温のため中止)実施、延べ1,192人参加した。 学校ブルー団体開放：延べ8日(1日は低温のため中止)実施、延べ663人参加した。	指導員及び運営委員会の高齢化と、後継者不足。	現状維持	スポーツ振興課	施設等担当	
						決算	11,738	実績数	30,631 人							
								申込数	—							
3 (再掲)	38	ス01-03	スポーツボランティアの養成	地域の生涯スポーツ・レクリエーションの振興を推進し、ボランティアマインドを養成するため。	「支えるスポーツ」の担い手として、スポーツボランティアを登録・養成・派遣する。	予算	3,110	当初予定数(定員等)	—	・スポーツボランティア登録者数：122人 ・平成30年度スポーツボランティア派遣人数：472人 ・スポーツボランティア養成講座全6回 受講者延べ79人	スポーツ事業・オリンピック・パラリンピック気運醸成事業を中心に、ボランティアの従事依頼を実施した。また、区外の自治体・ボランティア団体との連携により、区内で実施していない競技スポーツ事業への派遣数が増加した。併せて大会ボランティア・都市ボランティアの情報を提供するだけでなく、区からの推薦も行った。	東京2020大会の気運醸成のため、より多くの事業に従事依頼を行う必要がある。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係	
						決算	1,981	実績数	—							
								申込数	—							
<b>【基本的な方向性(2)】 スポーツを通じた交流</b>																
4	39		カイザースラウテルン市長杯文京区少年サッカー大会	少年サッカー大会を通じた区内サッカークラブ・学校間の交流。	姉妹都市提携のカイザースラウテルン市(ドイツ)が2006年のワールドカップドイツ大会で開催都市となったことを記念し、平成16年より大会を実施している。	予算	800	当初予定数(定員等)	—	・中学生大会 ①8月27日(月)・28日(火)・29日(水)・30日(木) 参加実績11チーム224人 ②12月16日(日)・22日(土)・23日(日)参加実績9チーム198人 ・小学生大会 ①1年生の部・2年生の部 12月2日(日)・12月9日(日) 参加実績 1年生：10チーム148人 2年生：11チーム167人 ②3年生の部・4年生の部 平成31年1月6日(日)・14日(月祝) 参加実績 3年生：9チーム110人 4年生：7チーム80人 ③5年生の部・6年生の部 平成31年2月17日(日)・23日(土)・24日(日) 参加実績 5年生：5チーム53人 6年生：8チーム104人	平成30年度は70チーム延べ1084名が参加した。	小学生、中学生とも前年より参加チーム数が減少している。	現状維持	令和元年度より中学生大会は別の形式で実施する。	スポーツ振興課	スポーツ振興係
						決算	713	実績数	実績のとおり							
								申込数	実績のとおり							
5 (再掲)	39		親子向けスポーツ教室	親子や参加者同士のスポーツ活動を通じ、次代を担う子どもたちを健全に育成するとともに、スポーツに親しみをもつきっかけづくりの機会とするため。	親子で気軽に参加することができるスポーツ教室を開催する。	予算	290	当初予定数(定員等)	152 人	・親子はげ釣教室：7月21日(土)実施(旧中川河川敷) 定員：80人 参加数：78人 応募数：262人 ・親子ボウリング教室 日程：9月1日、8日、15日(土)全3回実施 (東京ドームボウリングセンター)定員：12組24人(3日実施) 参加数：66人 応募数：140人	親子で気軽に楽しくスポーツをすることができ、機会を創出することができた。また、多くの子どもたちが2種目に対し興味、関心を持った。	両教室とも応募数が多く、抽選倍率が高い。	現状維持	スポーツ振興課	施設等担当	
						決算	215	実績数	144 人							94.7%
								申込数	402 人							264.5%
6 (再掲)	39	ス01-01	スポーツ交流ひろばの充実	区民に年間を通じてスポーツの機会を提供する。	区立小・中学校の体育館や校庭を活用し、地域の指導員の指導のもと曜日や種目を設定し、区民の身近なスポーツ活動の場として開放する。 夏季には昭和小及び音羽中でブルー一般開放を実施、その他育成会等の申請によりブルー団体開放を実施する。	予算	13,976	当初予定数(定員等)	—	スポーツ交流ひろば：区立小・中学校18校にて実施した。 学校ブルー一般開放：昭和小学校及び音羽中学校で実施した。 学校ブルー団体開放：3校で実施した(1校は申請があったが、低温のため中止した)。	スポーツ交流ひろば：延べ1,441日実施、延べ28,776人参加した。 学校ブルー一般開放：延べ11日(3日は台風の影響または高温のため中止)実施、延べ1,192人参加した。 学校ブルー団体開放：延べ8日(1日は低温のため中止)実施、延べ663人参加した。	指導員及び運営委員会の高齢化と、後継者不足。	現状維持	スポーツ振興課	施設等担当	
						決算	11,738	実績数	30,631 人							
								申込数	—							
7	39		ニューススポーツ教室・大会	地域におけるニューススポーツ等の普及振興	障害の有無や年齢に関わらず一緒に楽しむことができるドッジビーやポッチャ等の各種ニューススポーツ教室や大会を実施する。	予算	409	当初予定数(定員等)	—	ニューススポーツ教室(通年・申請に応じてドッジビー・ポッチャ等の出前教室) 実施回数15回、参加人数延べ662名 ・みんなで楽しくドッジビー大会 平成31年3月10日(日)34チーム315名	平成30年度はドッジビー大会の会場がスポーツセンターとなったので、前年から大幅に参加者数が増えた。	大会の参加人数が多数集まった場合の会場の動線や安全の確保等について工夫する必要がある。	現状維持	スポーツ振興課	スポーツ振興係	
						決算	390	実績数	実績のとおり							
								申込数	実績のとおり							